

令和元年度 第 1 回群馬支部評議会 概要報告（速報）

開 催 日	令和元年 7 月 22 日 月曜日 午前 10 時から
開 催 場 所	K ‘ B I X 元気まえばし（前橋プラザ元気 21） 503 号室
出 席 者	新井評議員、大矢評議員、木村評議員、小暮評議員、齋藤評議員、坂西評議員、坂本評議員、田子評議員、細野評議員（五十音順）
議 題	1. 平成 3 0 年度決算報告について 2. 平成 3 0 年度群馬支部事業報告について 3. 令和 2 年度支部保険者機能強化予算の検討について 4. 報告事項 ・健康ウォーキングの実施報告について
議 事 概 要 （主な意見等）	各議題につき事務局より資料に基づき説明。主な質疑応答内容は以下の通り。 ○議題 1. 平成 3 0 年度決算報告について ■資料 1： 協会けんぽ平成 3 0 年度決算見込み（医療分）について 〔事業主代表〕 ・単年度収支が赤字になる見通し（試算）とあるが、やや悲観的ではないか。 （平均保険料率 1 0 % を維持したときの今後 1 0 年間の各年度末における協会けんぽの準備金残高と法定準備金に対する残高の状況に係るごく荒い試算について） 〔事務局〕 ・全国健康保険協会の財政は、医療費の伸びが賃金上昇率を上回るという財政上の赤字構造が依然として解消されておられません。今後の高額薬剤の保険収載の可能性や不透明な経済状況などを踏まえると楽観できない状況です。また、団塊の世代が後期高齢者になる 2 0 2 5 年問題に伴い拠出金の増加も予想されるため、現状では厳しい試算にせざるを得ないものと考えております。 〔被保険者代表〕 ・被保険者数の著しい伸びはパート労働者の増加などの影響か。 〔事務局〕 ・パート労働者の適用拡大や日本年金機構における適用促進対策の強化による影響と考えております。なお、この被保険者数の伸びは平成 2 9 年 9 月を境に急激に鈍化しており今後も動向については注視していく必要があります。 〔学識経験者〕

- ・これだけ準備金が積みあがっているが、国庫補助への影響は。

〔事務局〕

- ・現在、国庫補助率の変更に関する動きは確認しておりません。準備金残高は現在積みあがっておりますが、全国健康保険協会の財政は依然として赤字構造が解消されておらず、将来的に財政難になることが見込まれる厳しい財政状況にあると考えております。

○議題 2. 平成 30 年度群馬支部事業報告について

■資料 2: 平成 30 年度群馬支部事業計画実施状況について

〔学識経験者〕

- ・債権回収率が低いのは何故か。

〔事務局〕

- ・要因の一つとして、外国人の割合が多い点が挙げられます。返納金債務者の約 2 割程度（支部集計）となりますので、外国人向けのチラシ等を作成し周知広報を徹底していく予定です。また、無資格受診のみで見ても、債権回収率が低い状況にありますので法的手続きであれば財産が判明する者に的を絞る等、効率的かつ効果的な債権回収業務を進め回収率の向上に努めてまいります。

〔学識経験者〕

- ・医療機関におけるオンライン資格確認業務の利用率の向上について最終 71.1% とあるが、利用率向上に向けての具体的な取り組みは何か。

〔事務局〕

- ・医療機関に対し、文書による勧奨に加え電話による勧奨を実施致しました。平成 29 年度までは文書による勧奨業務のみでしたが、今回の効果もみて、今年度も引き続き実施してまいります。

〔学識経験者〕

- ・ジェネリック医薬品使用割合は比較的高い数値だが、さらに上げるための具体的な施策はあるか。

〔事務局〕

- ・当支部はジェネリック医薬品の若年層の使用率が低いという課題がございます。今年度の事業になりますが、提携市町村のうち 5 市の小学校と連携し、若年層の保護者に向けた啓発チラシを作成し送付致しました。あわせて、使用割合が低い地域を選定し、小学生がいる加入者に対しても同様に啓発チラシを送付する予定です。

また、「一般名処方」で処方箋を受け取った薬剤師は患者と相談して、先発医薬品と同じ主成分・効能であればジェネリック医薬品を調剤できますので、一般名処方の普及促進について保険者協議会にも働きかけております。

〔学識経験者〕

- ・メルマガについて、もっと見やすく加入者が関心を持てるようPR方法について検討してはどうか。

〔事務局〕

- ・他支部でSNSを使用し効果的に広報を展開している事例もありますので、当支部としても体制面も含めて検討してまいります。

○議題 3. 令和2年度支部保険者機能強化予算の検討について

■資料 3: 平成30年度特別計上経費にかかる執行状況について

■資料 4: 令和2年度支部保険者機能強化予算の検討について

■資料 5: 健康保険（医療保険）制度等に関するアンケート結果集計

〔学識経験者〕

- ・マスメディアを活用した広報については、新聞、ラジオ等それぞれ得手不得手があるもの。より効果的な広報事業とするには、ある程度ターゲットを絞り実施することである。広報すべきところに、その言葉が届くような媒体を選択するという点をお願いしたい。

〔事業主代表〕

- ・グローバル化が進展する中、広報の外国人対策は必須である。さまざまな現場で課題に直面している。実際に小規模事業者の外国人の離職率が高いといった問題もある。他の機関では外国人の相談窓口（ワンストップ）が設置されている。群馬支部もそういった外部機関と情報を共有するなど有効な広報活動を期待したい。

○議題 4. 報告事項

- ・健康ウォーキングの実施報告について

■資料 6: 事例報告書（ウォーキングセミナー実施について）

- ・特になし

特 記 事 項

- ・令和元年度第1回群馬支部評議会傍聴者 報道機関関係者1名
※翌日新聞掲載あり